

タイトル

3D Wall -多機能家具の挿入によるライフスタイルの更新-

リノベーション前 及び リノベーション後 の写真 (必須)



▲ 既存写真: ダイニング側の和室から隣室を見る。

▲ 既存写真: 玄関側から和室を見る。



▲ 多機能の家具である3D WallによりLDK一室の中で家族の思い思いの活動が可能となり、施主の要望であった「家族の雰囲気を感じながら過ごす」というライフスタイルを実現した。



▲ LDKを分断していた壁を撤去し、構造上抜けない柱は荒木のままと化粧として見せ、30数年というこれまでの時間と共に、これからの時間と子供たちの成長を刻む『身長柱』とした。

両親と幼い子供3人が住む、築30数年の既存住宅の改修。
2間続きの和室と壁で仕切られたダイニング・キッチンという既存の間取りから既存の壁を取り払い、畳コーナーのある大きなLDKに改修し、既存サッシの前面に奥行き約300mmの【3D Wall】という装置を挿入した。【3D Wall】には大小様々な正方形の孔を空けており、その孔にテレビ台や本棚・PC台・勉強机・飾り棚などの機能を設けた。



3D Wall -多機能家具の挿入によるライフスタイルの更新-

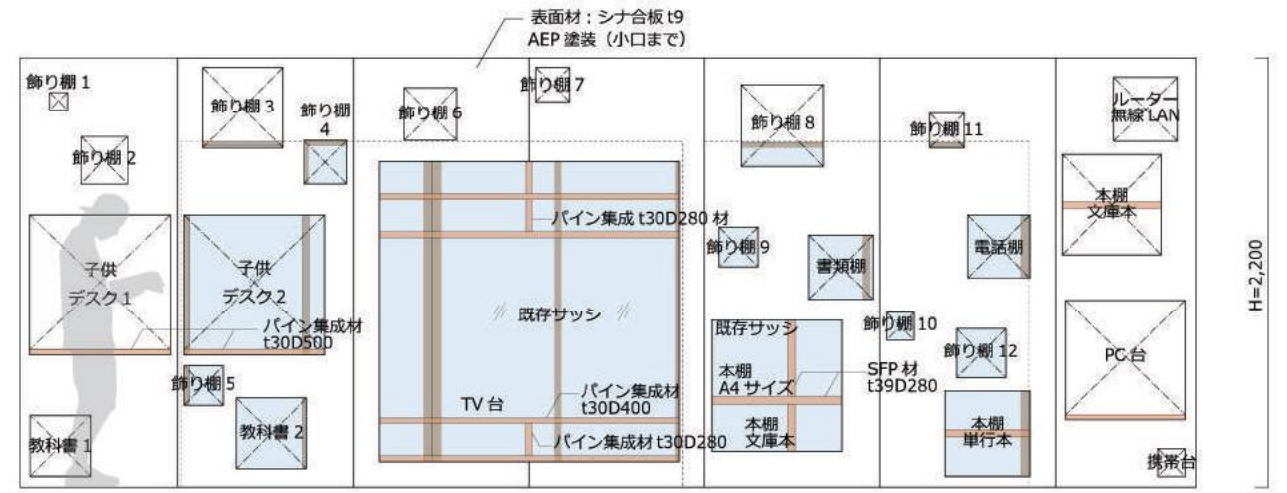
リノベーション前 及び リノベーション後の平面図 (必須) (平面図に加えて、展開図、パース、ダイアグラム等を用いて自由に表現することは可)



Before plan S=1:150



After plan S=1:150

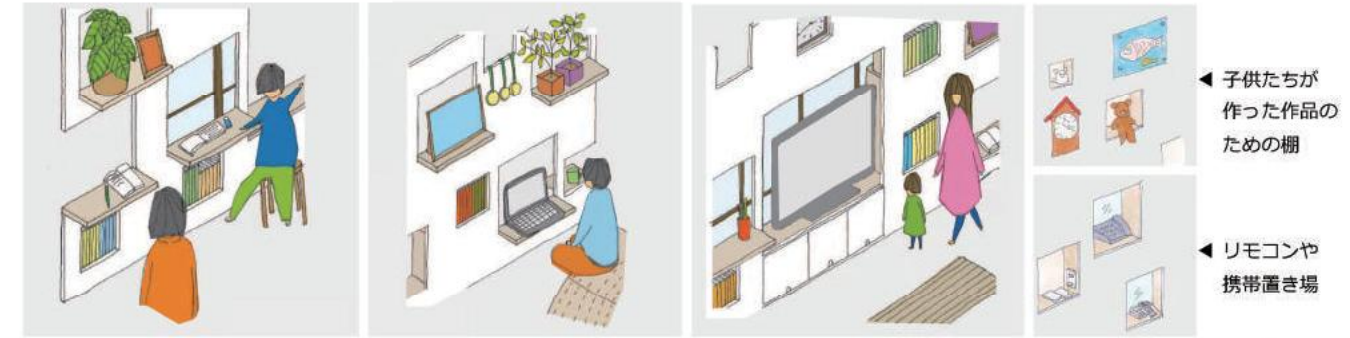


3D Wall Elevation S=1:40

- ・2間続きの和室とダイニングキッチンが壁で分断されていた。 →
- ・窓が多いため採光は得ることができる一方、壁が少ないため、テレビ台や収納、幼い子供たちが幼稚園や小学校で制作した絵や作品を飾るスペースがなかった。

- ・壁を取り外し、LDKを大きなワンルームとすることで、どこにいても家族の雰囲気を感じることができる空間とした。
- ・テレビ台や勉強机・棚・絵を貼るための壁といった機能を備えた3D Wallを設置することで、家族が思い思いに過ごすことが可能となった。

▲既存サッシの前面に設置した3D Wallは、テレビ台・勉強机・棚等の機能をもつ。3D Wallの孔は、適度な採光と、既存サッシの開閉や施錠、カーテンの開閉が可能な位置に設けられており、既存のサッシの採光・通風といった機能も活かしている。



▲ 子供たちのスタディコーナー ▲ PCコーナー ▲ テレビ台 Concept image

3D Wall Diagram

